

# 身体障害者補助犬の普及啓発等

# 身体障害者補助犬の普及啓発

## ●新聞突出し広告

掲載紙：読売、朝日、毎日、  
産経、日経、東京等  
計78紙に掲載

掲載期間：令和3年  
11月16日(火)  
～11月21日(日)  
のうち1日



※R3.11.16読売新聞ほか掲載分

## ●Yahoo!ニュースバナー広告

掲載サイト：Yahoo!ニュース  
(スマホ版)  
掲載期間：令和3年  
11月29日(月)  
～12月5日(日)



※R3.11.29Yahoo!ニュース(スマホ版)より

## ●政府広報ラジオ(令和3年11月21日(日)放送)

青木源太・足立梨花  
*Sunday Collection*

身体障害者補助犬の普及啓発 (CM) (文字で読む)

目や耳、手足に障害のある方をサポートする「補助犬」をご存じですか。  
補助犬は、特別な訓練を受けています。また、手入れも行き届いており清潔です。  
このため、様々な場所で同伴が可能です。

電車、バスでは、  
シートなどを汚さないように足もとで静かに待機できます。  
飲食店、商業施設では、  
大人しくテーブルや椅子のそばで待機できます

補助犬は、障害のある方が、自立と社会参加をするための大切なパートナーです。  
政府では、障害のある方が日々の暮らしをよりよく過ごせるような社会の実現を目指しています。

ご理解のほどよろしくお願いたします。

明日の暮らしをわかりやすく  
♪ 政府広報 ♪

※1 政府広報オンラインより ※2 TOKYOFMをキー局に、全38局ネットで放送。

## ●啓発動画をYouTubeに掲載(令和3年5月～)

掲載動画(計5種)：

- もっと知って介助犬！
- もっと知って聴導犬！
- もっと知って盲導犬！
- 補助犬もっと知ってMOVIE PART1、PART2



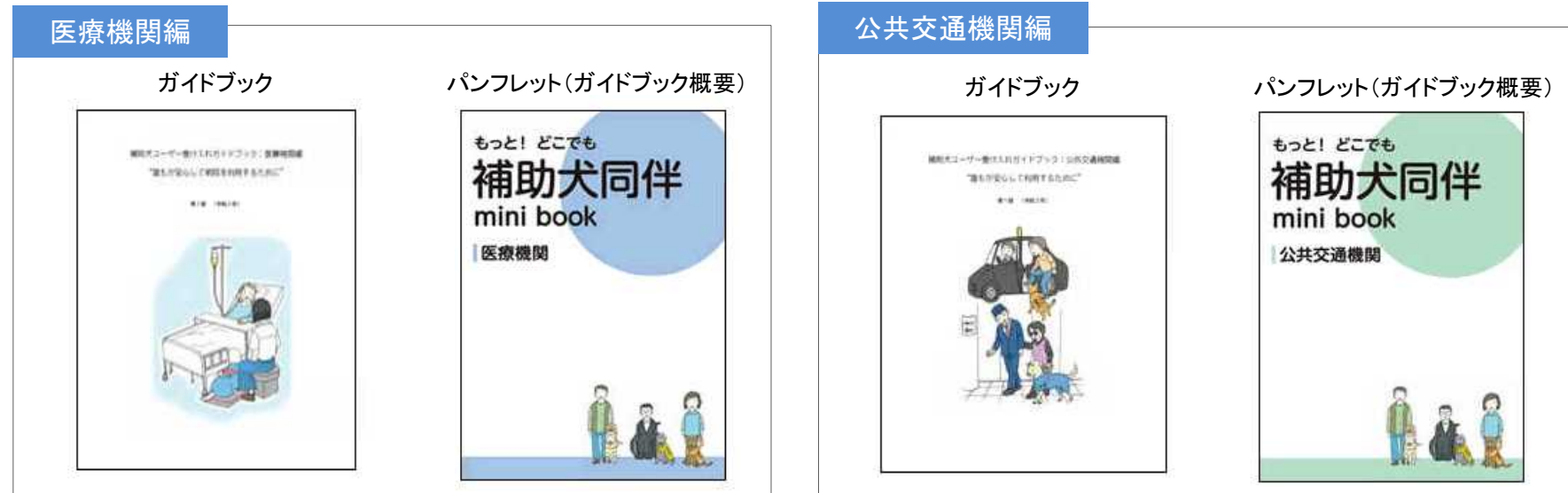
※厚生労働省YouTubeチャンネルより

# 身体障害者補助犬の受け入れ促進

令和元年度～令和2年度厚生労働科学研究「身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究」により、「受け入れガイドブック」(業界別)及び「衛生管理の手引き」を作成、周知。

## ●補助犬ユーザー受け入れガイドブック(計7編)

(例)



## ●補助犬使用者及び訓練事業者のための補助犬衛生管理の手引き



※1 厚労省ホームページへの掲載、関係行政機関(国交省、農水省、都道府県等)の協力による各種業界への周知を実施。  
 ※2 受け入れガイドブックは、医療機関編、公共交通機関編、宿泊施設編、飲食店編、複合商業施設編、賃貸住宅・分譲マンション編、保健所編を作成。多言語パンフレットも作成。(英語 中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、ベトナム語)

# 身体障害者補助犬育成促進事業

地域生活支援事業費等補助金の内数

令和3年度予算額513億円⇒令和4年度予算(案)518億円

(国庫補助率:1/2)

(地域生活支援促進事業 実施主体:都道府県)

## 1 目的

身体障害者の自立と社会参加を促進するため、身体障害者補助犬の育成等に要する費用を助成するとともに、地域における補助犬に対する理解促進を図ることにより、補助犬ユーザーの社会参加がより一層促進されることを目的とする。

## 2 事業内容

### (1)補助犬の育成

補助犬を育成するための訓練を実施する。

なお、本事業の対象経費は、身体障害者補助犬法第16条第1項の認定を受けた補助犬の訓練に要した経費に限る。

### (2)育成計画の作成

ア 補助犬に関するニーズの把握

各都道府県における補助犬の使用者数及び使用希望者数の把握。

イ 供給体制の把握と計画的な育成に向けた連携体制の構築

訓練事業者の育成状況(育成可能頭数・見込み等)を把握し、アによって把握したニーズを踏まえ、計画的な対応を行うための広域的な連携体制を構築する。

### (3)理解促進、普及・啓発

地域住民等に対するイベント等の開催、広報など、補助犬に対する理解促進や補助犬の普及・啓発を図るための取組を行う。

# 身体障害者補助犬使用希望者の訓練の効果測定のための研究

## 【目的】

ニーズや適性のある障害者に適切に補助犬のサービスが提供されるよう事業者のサービスの質を確保することを目的として、下記①から③の調査研究を行う。

- ① 補助犬が適性のある障害者に適切に提供されるよう使用希望者の適性評価の適切なあり方について検討。
- ② 使用希望者と補助犬の訓練の評価や、事業者のフォローアップの適切なあり方について検討。
- ③ 補助犬や事業者のサービスの質を確保するため、他制度との比較検討等。

## 【研究体制】

	氏名	所属
研究代表者	清野 絵	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 室長
研究分担者	小澤 温	筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授
研究分担者	山本 真理子	帝京科学大学 生命科学部 アニマルサイエンス学科 講師
研究協力者	飛松 好子	国立障害者リハビリテーションセンター 顧問
	石川 浩太郎	国立障害者リハビリテーションセンター病院 耳鼻咽喉科 医長
	菊地 尚久	千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長
	高柳 友子	一般社団法人日本身体障害者補助犬学会 理事・愛知医科大学医学部 客員教授
	田中 雅之	名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部長
	渡邊 学	東京大学 新領域創成科学研究科盲導犬歩行学分野 特任教授